The Japanese Association for Behavior Analysis(JABA)
日本行動分析学会第26回年次大会　ポスター発表（P2－32）
（2008年8月9日～10日　横浜国立大学）

# 視覚障害のある自閉症者に対する排他律を用いた弁別訓練(1)

## Discriminative training based on the exclusion in an adult with autism and visual impairment(1)

○森田　絢子・林　周一郎・井澤　信三
Ayako MORITA, Shuichiro HAYASHI and Shinzo ISAWA
（兵庫教育大学大学院学校教育研究科・知的障害更生施設希望の郷・兵庫教育大学大学院）

Key words: exclusion, discriminative training, visual impairment

＜目的＞

物事の関係性を効率よく学習するための方略として、排他律を用いた手続きが使用される。排他律とは、見本刺激として未知刺激が提示され、比較刺激として既知刺激と未知刺激が存在する場合、既知刺激を排除し、未知刺激を選択することをいう。排他律による学習の効率化は、未知刺激と既知刺激の関係性を捉える学習を促進することから、排他律を用いた訓練を継続することで未知刺激が既知刺激に変化する可能性が高いと考えられる。そこで、本研究では、視覚障害を有する自閉症者に対して排他律を用いた、弁別訓練を実施し、その効果を検討した。

＜方法＞

1. 対象者

中途による視覚障害を有する生活年齢24歳の自閉症男性。知的障害更生通所施設に所属。過去の訓練により、「コップ」「お皿」「テープ」の弁別は既に獲得されていた。また、奥山・井澤(2007)により、排他律を用いた弁別訓練が実施され、排他律の成立による学習の促進が示されていた。

2. 指導の概要:

木箱の中に未知刺激と既知刺激を配置し、MTが「○○とってね」と音声指示を行った。対象者には見本刺激に合致した刺激を選択することが求められた。見本刺激および既知刺激の配置、見本刺激の提示はランダムとし、正反応に対しては、言語賞賛および1次性の強化子(ジュース、チョコなど)が提示された。誤反応に対しては、再度、MTが音声指示を提示し、STが身体誘導を行い修正した。

3. 刺激

未知刺激として表面に凹凸のある円柱形の容器を「ぎざぎざ」、凹凸がない円柱形の容器を「つるつる」と命名し使用した。また、テストにおいて「つみき」を未知刺激として使用した。既知刺激として、「コップ」「お皿」「テープ」を使用した。

4. 訓練ステップの条件

対象者の課題への動機づけを高めるために、既に獲得している既知刺激同士の弁別と排他律を用いた弁別訓練とを組み合わせて訓練を実施した。訓練ステップの条件をTable 1に示した。

Table 1　訓練ステップの条件

| | Session① | Session② | Session③ |
|---|---|---|---|
| Step1 | 既知・既知（確認あり） | 既知・「ぎざぎざ」（確認あり） | |
| Step2 | 既知・既知（確認なし） | 既知・「ぎざぎざ」（確認なし） | |
| Test | 「ぎざぎざ」・つみき | | |
| Step3 | 既知・「ぎざぎざ」 | 「つるつる」・「ぎざぎざ」 | |
| Step4 | 既知・「ぎざぎざ」 | 既知・「つるつる」 | 「つるつる」・「ぎざぎざ」（テスト） |

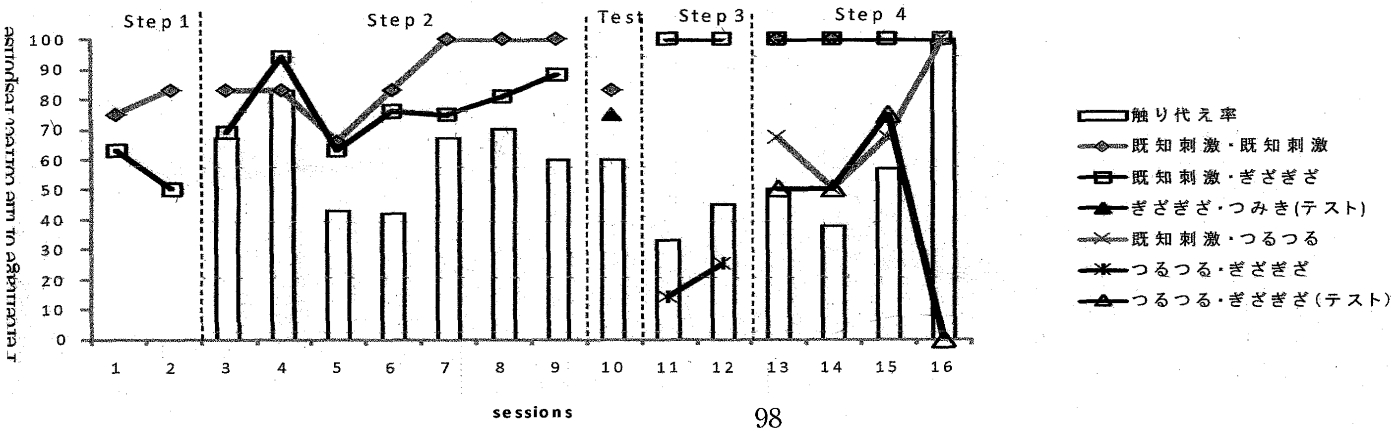
＜結果および考察＞

Fig. 1に各ステップの正反応率と触り代え率を示した。触り代え率とは、触り代えが求められる場面において触り代えを行った回数を百分率で表したものであった。指導の結果、既知刺激とぎざぎざの弁別訓練では、Step 3において100%の正反応率を達成した。既知刺激と「つるつる」の弁別訓練では、Step 4において100%の正反応率を達成した。

既知刺激と「ぎざぎざ」および既知刺激と「つるつる」の弁別訓練において、100%の正反応率を達成したが、未知刺激同士を提示したテストにおいて正反応率の上昇が見られなかった。このことから排他律による弁別は成立したが、未知刺激の既知刺激への変容は成立していないと考えられる。山本(1992)によれば、刺激の1対1の関係を成立させるためには少なくとも3選択以上の比較刺激を用いた条件性弁別が必要だとされている。このことから本研究の現時点における検討では不十分である。そこで、今後は未知刺激から既知刺激へ移行するための訓練条件を検討していく必要がある。

＜文献＞

奥山・井澤 (2007) 日本行動分析学会第25回大会論文発表集, *39*.
山本 (1992) 行動分析学研究, *7*(1)1-39.






NII-Electronic Library Service